

# 春日井市における「1日限定！ 路線バス無料デー」の実施と効果

津田哲宏\*、中村奏大\*、水野杏菜\*\*、森田一平\*\*、有元勇人\*\*、萩原剛\*\*、北村清州\*\*  
\*春日井市まちづくり推進部都市政策課、\*\*一般財団法人計量計画研究所

キーワード：居住者MM、バス利用促進、自動車利用抑制、MM評価

## 背景・目的



### 人口

305,249人  
(令和7年4月)

### 面積

92.78km<sup>2</sup>

### 利用可能な交通

路線バス、コミュニティバス、オンデマンドバス、鉄道（JR・名鉄）、自主運行バス等

▶ 自動車依存の進行や、今後の人口減少等により、公共交通利用者が減少していけば、**将来、サービスを維持できなくなる恐れ**

### MMのロードマップ

取組の方針「小さく生んで大きく育てる」

- R4 公共交通に関心を持ってもらう  
昼間帯の高齢者等を中心とした比較的小さいグループを対象にコミュニケーション
- R5 公共交通で一度おでかけをしてもらう  
前年度の取組の成果・知見を踏まえ、取組の深化
- R6 公共交通を使い続けてもらう  
市全域を対象とした大規模なコミュニケーション

- 公共交通の利用促進に向けた取組を推進するにあたり、令和3年度に3年間のロードマップを策定
- 令和6年度は、より多くの市民に公共交通を利用してもらうべく、**普段公共交通を利用しない市民に対して利用機会を提供する**ことを目的に、**路線バス無料デーを実施**

## プロジェクトの概要と効果

1日限定！

# 路線バス無料デー

名鉄バス・あおい交通・サンマルシェ循環バス・かすがいシティバス

開催日：令和6年10月14日（祝・月） 終日

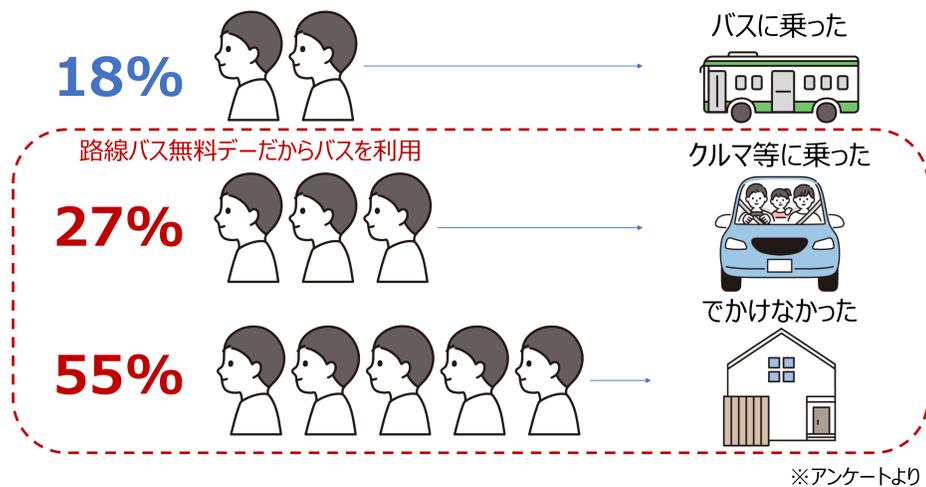
### 実施概要

- ✓ 市内を走行する**全ての路線バスを終日無料**に
  - ・ 同日に開催のスポーツフェスティバルでも利用を呼び掛け
- ✓ **タブロイド誌を配布**し、路線バスで訪問できる場所を紹介
- ✓ 当日外出し、MaaSアプリ「move!かすがい」に会員登録・ログインした人にかすがいシティバスの**デジタル定期券を配付**

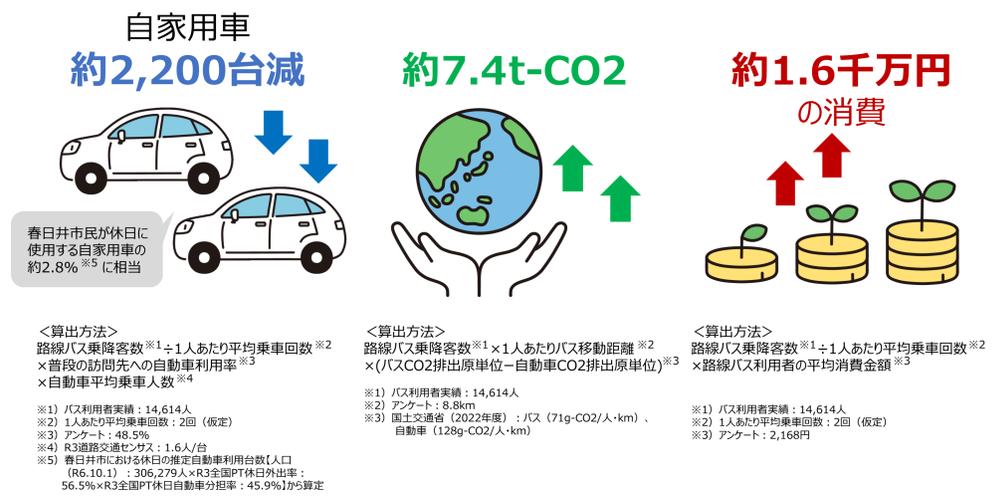
### 効果

- ✓ 当日の利用者数：**14,614人**（前週比：約2倍）
- ✓ **約82%の人が路線バス無料デーをきっかけにバスを利用**

路線バス無料デーが無かった場合…



- ✓ 交通量への効果：**約2,200台**の自家用車が減少
- ✓ 環境への効果：**約7.4トン**の二酸化炭素排出量を削減
- ✓ 経済への効果：**約1.6千万円**の消費を促進



利用者の声 ※現地ヒアリングやアンケート、Xより、一部回答を集約して掲載



- ・ 普段はバスに乗ることはあまりないが、路線バス無料デーをきっかけに友達とたくさん利用した。
- ・ バスでの移動は簡単で助かった。



- ・ 子どもがはじめて路線バスに乗り、マナーを学ぶ機会になった。
- ・ 親としても、運行経路等を調べることで、春日井市のバスを知ることができた。



- ・ 路線バス無料デーに合わせ、タブロイド紙で紹介されていたワイナリーに行く。毎号タブロイドを楽しみにしている。
- ・ バスマップがほしい。

- ・ 普段は駅まで車で行くが、路線バスが無料なので行き帰りともバスに乗った。
- ・ バスだから帰りに飲む事ができた



- ・ 車では行きにくい店にもバスで行くことができた。
- ・ 便数が少ないので、途中下車すると次のバスを待つのが大変だった。
- ・ 運転免許証を返納した高齢者のためにも、安くて使い勝手がよい路線バスの運行をぜひ継続して欲しい。



## 結論

- ・ 路線バス無料デーをきっかけに路線バスを利用した人の中には、初めてバスを利用した人やバスに関する情報を調べた人が多数みられ、本イベントは、路線バス利用のきっかけづくりとして一定の効果を得られたと考えられる。
- ・ 今後は、路線バス無料デーといったイベント等で利用者の裾野を広げるだけでなく、路線バスに関する情報提供等も行いながら、公共交通を使い続けてもらえるような取組を継続していくことが期待される。